



アレキサンドロフシ
シムボルト贈付書内
蔵省所轄各會計及収入局正金調査
計算検査心得附録



414
2323
2

百二十六年五月二十八日大藏省所定 會計及收入諸
事ノ檢査及決算事務ニ涉リ制定セル事務章程ノ第
一附録

第一 檢査須知及檢査通則ノ追加

(第九款ノ追加) 檢査官ハ其擔當セル會計及收入局ニ在テ又該
局ニ屬スル物品ヲ現品目錄ニ照會シ物品ノ有無ト記録ノ正否ヲ
監シ其如何ヲ檢査日記ニ記スヘシ

(第十款ノ追加) 檢査官ハ檢査ヲ始ムルノ前ニ方リ先ツ前年ノ
檢査ニ於テ檢査官並本省ヨリ制令セル諸令文ヲ 覽シ尔來該
局ニ於テ果テ違テ遵奉セルト或ハ其狀況全ク前年ノ如ク随テ
又同様ノ報告ヲ要スルヤ否ヲ監ムベシ

(丁) 各局出納課檢査ノ條追加
第三十 (追加) 出納局若シ裁判所手數計ノ收入事務ヲ兼

三ノ東ノ譯

大正十一年四月

任シ隨テ裁判費用ノ為ニ又出金ヲナスハ本査官ハ該出納局
ト裁判會計局トノ間ニ於ケル出金及収金ノ差引總テ明瞭ナル
ヤ否ヲ監シ之ヲ検査日記ニ録スヘシ

検査官ハ出金及収金ノ差引ヲ監マルニ臨ミ裁判會計局ニ出金
ノ金額ニ関シ或ハ其他ノ事態ニ於テ若シ疑惑ヲ生スルアラ
ハ豫メ裁判所長ニ通知シテ該所ノ會計局ヲ詳査スルヲ得ヘ
シ

但該検査ニ拠テ得ル所ノ計算ト其記録類トハ検査別帳ニ登録
ス

(申) 収税諸局其官算先塩税収入事務ノ検査條追加
十三條(千八百五十六年五月二十八日ノ指令書中萬
十三條ノ改正)

(伊) 収税諸局及其官算

(第一) 検査官ハ検査ヲナスニ先テ豫メ出納本ニ告ケ左ノ件
ヲ掲載セル証書ヲ出サレムヘシ

(イ) 収入豫算簿ニ拠テ徴証セル本年不直税ノ収入高
(ロ) 該税中既納ノ高
(ハ) 前年残金ノ有高

不ノ証書ハ検査簿ニ登録レ後テ収税局ニ至ルニ及ヒ其収税豫
算帳ト比見スヘシ

(第二) 検査官ハ現金ヲ点檢スルニ先テ前三ケ月中該局ニ於テ
記録セル諸帳簿ヲ出サレメ之ヲ取置クヘシ若シ該局又貸財事
務ヲ兼任セル便附帳ト其諸証書トヲ封スヘシ

(第三) 諸収税局ニ於テ記録スヘキ諸帳簿ノ數類ニ涉リ検査官
ハ各局ニ備フル計算委任狀及フーリンゲン関稅合從ノ地方
記録ニ出板式ニ関スル公書等ニ拠リテ知ルヲ得ベシ

(第四) 出納ノ計算ニ関シ其出納本局ニ納付スヘキ金高ノ算出
ニ係リ切要ナル帳簿類ハ即チ左ノ如シ

(イ) 輸入輸出及通運甲地ヨリ乙地ニ貨物ヲ運送スルヲ云フ諸
税ニ関シ

(第二) 送状受取帳

(第二) 送状授与帳

(第二) 郵便記録

(第四) 輸入輸出及通運諸税収入帳(関税収入帳)

(イ) 越運甲地ヨリ乙地ニ轉送スルヲ云フ税ニ関シ

(第一) 越運送状受取帳

(第二) 越運送状授与帳(但在「ワイマール」府収税局ニ於テハ

其他骨牌税収入帳アリ)

(第三) 越運税収入帳

(ハ) 大根砂糖製造税ニ関シ

(第一) 大根砂糖製造税収入帳

(第二) 荷物到着届帳先量目帳ノ抄記

(ニ) 焼酒税ニ関シ

(第一) 焼酒營業届帳

(第二) 焼酒税収入帳

(ホ) 葡萄及烟草作業税ニ関シ

(第一) 葡萄絞汁税収入帳

(第二) 烟草作税収入帳

(ハ) 麥酒税ニ関シ

(第一) 麥酒醸造營業届帳

(第二) 税價算定帳

(ト) 蒸麥税ニ関シ

麥酒醸造ノ用
ニ係ルモノ

大蔵省

蕪麥收税帳但收税全額ノ半額ヲ既收高ト見做シ且巴
華國蒸麥税法ノ規程ニ照準スヘシ

(第五) 決算券書ヲ調整シ會計証文ヲ之ニ録記シ(此ノ般ノ事務
ハ通常事務日記ニ登載セズ)後テ本局納付ノ金額ヲ調査ス
此ノ際検査官ハ營業届出帳ニ於テ紙数ヲ追ヒ記入セル諸項
免稅ノ類ヲ除ク外ハ正ニ又々收税帳ニ於テ証記在スル歟否ヲ比
較スヘシ

葡萄酒作業稅及蕪麥稅ノ檢査ニ涉リテハ定規ノ收稅期限ニ
注意シテ算セサルヘカラス

收稅帳ノ檢査ヲ終ユルハ之ヲ完結シ終末ノ稅目ニ朱点ヲ畫シ
其傍ノ記事畫内ニ於テ全卷ノ總計(檢査ノ日マテハ每葉送金
附記シテ總數ヲ掲クル耳)ヲ表記スヘシ

然レトモ此ノ三ヶ月中ニ在テ更ニ收入ヲ記載スル諸帳簿ハ

完結檢印セズ尚ハ後期ノ記載ニ供セシム

然レトモ若シ此ノ際燒酒稅ノ收メキヲ見ハ検査官ハ之ヲ確
証セシメ為ニ豫テ該局ニ於テ記載スル所ノ燒酒營業届出帳
就テ該無收稅ノ原由ハ全ク管内ノ燒酒營業ヲ官ヨリ一時禁止
セシニ出ルルカ否ヲ檢スヘシ

(第六) 斯ノ如クニレテ当三ヶ月中收稅帳記載ノ金高ヲ檢定シ得
ハ此見ノ為ニ先ニ出納本局ヨリ檢証セル前三ヶ月中ノ收稅高
及前年ヨリノ殘金高トテ前書シ續テ右ノ金高ヲ檢査簿ニ録シ
置クヘシ

若シ右收稅局ニ於テ貨物送狀先轉運許可書等ヲ出スルハ此レ
ニ屬スル印稅ハ亦同簿ニ録スヘシ

(第七) 麥酒稅ハ每三ヶ月ノ第一月三日マテニ前拂トシテ收ム
ルヲ以テ該期日ノ後ハ常ニ出納本局納付金中ニ算入スヘシ

然レトモ若レ此ノ際麥酒税ノ中尚ホ未納ノ多アリテ敢テ規定
ノ探究ヲ用ニサルモ其事宛ニ明瞭ナルハ其由ヲ検査簿ニ
録記スヘシ但該未納分ヲ以テ他税ノ抵当ニ詳ニ見ユ第九トナスラ得
ス

麥酒用蒸麥税ノ既ニ届出帳ニ記載セルモノニシテ未タ納付ヤ
ス及定規ニ戻リ延納ヲ許セル税金ハ又前ノ取扱ニ同シ

(第八) 税則悖反ノ為ニ収ムル所ノ罰金ニシテ未タ^收税局ニ納付
セカル金額ハ又出納本局納附金中ニ算入スヘシ但レ右ノ如キ
収入ノ有無ヲ確知センカ為ニ往復書札帳并裁判治罪記録又ハ
裁判所兼務ノ収税課^ニ税局ニ於テ又裁判所ノ^ニ於テ記載スル
裁判帳ヲ檢スヘシ

(第九) 収税方ハ税金ノ抵当トシテ正金ノ外又確乎タル入金証
書及負債証書ヲ出スラ得ヘシ^且月^及諸^ノ經費^ハ之^ヲ税金^ノ中
録^シ其^ノ抵^当ト^シテ此^ノボ^ク

証書ヲ出但負債証書ハ各負債主毎ニ各一葉ヲ出カハルヘカラ
ニ例^ハハ^ハ月^俸ヲ^{税金}ヨリ^繰替^ヘテ^書ヲ^出ス^ハ各^吏別^々都^テ
之^ヲ認^ムヘ^ク敢^テ連^名ヲ^以テ^スル^能ハ^サル^ヲ云^フテ^リ都^テ
尙^税ノ^抵当^ハ税^目毎^ニ其^ノ負債^主ノ^証書^ヲ附^スヘ^ク焼^酒税^ハ税^局
ニ^備フル^焼酒^{營業}方^法手^続書^ニ基^テ抵^当全^額ヲ^算定^スヘ^シ
又^リ諸^税金^ノ滞^納ニ^涉ル^モノ^ハ定^規ニ^照準^シテ^抵当^簿ニ^記入^ス
ヌ^ルモ^ノト^ス

(第十) 検査官ハ決算上專ラ故障ヲ避ケンカ為ニ出納本局納付
金ヲ算定シ収税方ヲシテ之ヲ認認セシムル後ハ速ニ諸帳簿ヲ
尙更ニ還付スヘシ

但簿中疑惑ノ記目アラハ郡内大監督官ノ信証ヲ得タルモノト
虽^氏検査^官ハ更ニ該^信証^ニ関^テス^調査^スヘ^シ

(呂塩税収入)

(第十一) 検査官ハ其地方ニ在ル塩税収入本局ニ就テ当年分塩

税ノ収入高及該税既納ノ高并去歲ノ残金有高等ノ証書ヲ求ム

(第十二) 食塩賣拂帳及当三ヶ月中賣拂日記ハ猶カ他ノ間税
収入帳ニ於ケル如ク計算完結スヘシ但該諸帳ハ前以テ其地方
總ヨリ出ス所ノ塩稅事務ニ涉ル証書類ト相比見レ誤謬ハ之ヲ
改正スヘシ

賣拂日記ノ傍書金即チ正納金額(賣拂元額ヨリ運賃ヲ除クモノ)
ハ檢査簿ニ録記スヘシ但此見ノ為ニ当年内前三ヶ月ノ収入高
及前年ヨリノ残金アレハ其有高ラ前書ス且職業上ニ用エル塩
ノ収入金モ亦檢査官ハ証書ニ就テ其収入帳ヲ檢査算定シ共ニ
之ヲ録記スヘシ

(第十三) 千八百四十七年五月二十三日ノ布令并千八百五十七
年六月二十四日發行ノ訓令附録(四年ノ行政新聞第十九号ニ見

ユ)ニ照準シテ田用塩稅(養畜ノ為ニ用ル塩)ノ稅區ニ於テハ其賣拂
帳及之ニ屬スル諸証書ニ就テ収入高ヲ檢定シ出納本局納付金
額ニ算入スヘシ

(第十四) 間税収入局ノ計算簿及証書簿ノ記載方法ハ毎月必ス
稅區大監督ヨリ之ヲ監督檢査シ常ニ規程ニ悖ラサレム
然レトモ其間尚ハ規程悖反ノ件ヲ発見スルアラハ大監督ハ定
規ニ從テ之ヲ大藏寮ニ通知セラルヘカラス

千八百五十三年三月三日「ワイルマール」ニ於テ
太政官中大藏寮 ゲラルグ、トーン

全第二附録

凡ソ手数料ハ之ヲ收入スル處局ニ於テ自ら會計ヲ擔任シ又ハ
収稅方ニ委託スルニ把ハラス其檢査ニ方リ檢査官ハ豫メ會計

官吏ニ同ニ又ハ其他適宜ノ處置ヲ以テ現今檢算スヘキ手数料
ニ諸經費ハ全ク精算ニ屬スルカ或ハ其間多少ノ不足高アル
ヤ否ヲ確知シ檢査簿ニ其田ヲ記スヘシ
一千九百十六年十二月十三日
大藏寮

全第三附録

第二附録ニ於テ詔ニル手数料及ヒ諸經費ノ精算ニ屬スルヤ或
ハ其間不足高アルヤ否ヲ確知スルニ方リ若シ収稅方ニ委託セ
ル裁判所ノ吏員自ラ其會計ヲ擔任スル手数料及ヒ經費金ナレ
ハ檢査官ハ豫メ携帶スル所ノ前三年間ノ經費記録中少クモ十
二ヶ月分ト前檢査後ノ經費記録并郵便計算簿ニ於テ調査スヘ
ク又郵便費ノ訴訟事務ニ涉ルモノハ一千八百七十年九月五日ノ
各裁判所ニ於ケル指令言ヲ比見スヘシ

裁判諸費(日頭) 公告手数料(一) 裁判記録

ニ照會シテ其規程ニ戻ルナキヤ否ヲ監々ヘシ即チ之ヲ要スレ
ニ若シ該諸費ハ先ニ既ニ其品類ニ從テ計算ヲ終ヘルモノナ
ルトキハ宜ク其取テ規程ニ戻ラス時期ニ差ハス算分ナルヤ否
ヲ檢スヘシトス

但斯クノ如ク檢査マレ諸經費ハ其科目ヲ檢査簿ニ概記スヘシ

經費科目ノ番号及數額モ亦登錄スヘシ

其他手数料ノ檢査ニ際シ次ノ件々ニ注意スヘシトス

(第一) 檢査官ハ其局會計方ノ或ハ裁判手数料ノ外亦他ノ收入

(例) 収物ノ収賂金賣買定約ノ手数料區務所收入ニ屬スヘ
キ贖罪金裁判手数料ノ前納金及諸附托(五等)事務ヲ擔當スルカ
空ヲ問ハ若シ實ニ之ヲ擔當セバ檢査ヲ遂ケ其帳簿中或ハ証據
ノ信憑シ難キモノアラハ別ニ有金証書ヲ出カシメ檢査書類ト

共ニ蓄ノヘシ

(第二) 特別手数料 即チ工ニ奉ケルニ依ル諸帳簿ノ収入科目ハ初メ之ヲ他ノ帳簿ニ比見シ其既ニ收納セルノハ收納ノ月日及シ章方等ノ規程ニ適フヤ否ヲ監ムヘシ(諸収入科目ノ中ニ就テ數目ヲ扱ミ試ニ之ヲ檢スヘシ)又該局ヨリ他人ニ附与スベキ金額及物品ハ正ニ授附シ隨テ其受証存スルヤ否ヲ檢スヘシ
(第三) 検査官ハ又千八百五十六年三月二十八日ノ事務章程第三十四條ニ記載シレ記簿方ノ如何ヲ検査スヘシトス即チ前檢査後日記及諸算簿(千八百五十年十二月一日ノ事務章程中第四十五條ヨリ第四十七ニ至リ之ク規程ヲ拘ク)ハ毎三ヶ月ニ於テ之ヲ完結決算セルク又ハ其決算セル手数料収入高ノ總計ハ全一ケ年分ノ手数料収入高總計ニ照會シテ相違ナキヤ否ヲ檢スヘシ但該一ケ年分ノ總計高ハ之ク正ニ檢査前豫メ調算シ檢査証

簿ニ登録シテ携帶スヘシ
検査官ハ手数料収入方ニ説諭シテ出納日記ノ記載式ヲシテ都テ千八百六十八年九月三十一日ノ出納官心得規則(第十二條ニ掲ケル雛形ニ照準シ豫メ毎三ヶ月決算ノ用意ニ供セシムヘシ)
(第四) 筆墨紙ハ該局現有ノ數量ヲ其帳簿ニ照會シテ概算スヘク若シ格別ノ相違ナク順序畧ホ備ル片ハ別ニ每品之ヲ檢スルヲ煩ヒス
然レトモ其年分ノ計算証書類ハ必ス皆之ヲ点檢シ既ニ給与セル筆墨紙ノ受証ハ正ニ一々存スルカ又買入及給与ノ証書ハ尽ク其裁判所長ノ証印ヲ具ルカ否ヲ檢セシムカラス
(第五) 裁判所現有ノ動産ニシテ要重ノ品類ニ屬シ千八百六十九年九月八日指令ノ旨趣ニ從テ施行スヘキ検査ハ通常検査官

ノ与リ行ハサル所トス

千八百七十年十二月二十二日ワイマール

大蔵寮

今般此ノ附録ヲ全國諸局ノ會計方ニ頒布スルヲ以テ千八百五十六年六月二十九日ノ指令ト照考スヘシ

全第四附録

千八百五十六年五月二十八日ノ事務章程第八條第二節ニ於テ制定セル會計及出納諸局ノ金櫃ハ検査官ト會計方ト共ニ之ヲ封鎖スヘキ條ハ實際困難ノ情実ナキニ非ルヲ以テ今左ニ改定スル所茲ノ如シ蓋シ金櫃ノ製三箇ノ鎖鑰ヲ具セ而シ會計方ハ則テ唯其一鍵ヲ管有スルヲ常トス故ニ第二及第三鍵ニ就テ検査官ハ四鍵ヲ管守シ會計方ハ外ニ之ヲ有スヘシ但シ鎖鑰ニ際シ

両官相共ニ之ヲ施スヘク封印ニシテ施スヲ須ヒス

千八百七十一年十月二十九日ワイマールニ於テ

大蔵寮

検査ヲ始ムルニ際シ検査官ノ試問スヘキ條件

(第一) 會計方ハ今検査セント欲スル當局ノ外尚ホ他ノ會計局ヲ管掌スルカ若シ然ラハ何ノ局ナルカ且ツ大蔵寮ハ既ニ其兼任ヲナスヲ知り又之カ許可ヲ与ヘタルカ

(第二) 會計方ハ局内ノ官金ヲ規程工豫定ノ貯所ノ外又他所ニ於テ

(第三) 今計算セント欲スル官金ノ中抑々當局ニ屬セザル金額混同セルモノ無キヤ否ヤ又會計方ハ計算ニ於テ官金ノ或ハ不足ヲ生ジ或ハ餘剩ヲ生スルノ後慮ナキカ將タ官金中ヨリ給

俸又ハ税金聚集費用等ヲ操替ヘ而メ其受証ヲ納メラル者ナキ
カ及ハ之ニ反シテ先ニ既ニ受証ヲ納メ未タ其金額ヲ受取セス
尚ホ官金内ニ留存セル者ナキカ

(第四) 會計方 曾テ既ニ決算セルカ若シ然ラハ何ノ時ニ於テ
之ヲ行ヒシカ且ツ此ノ決算ニ拠テ現有ノ金高ハ帳簿ノ計算高
ト相符合セシカ

(第五) 収入金ハ悉皆日記ニ登録セシク而メ何ノ収入カ尚ホ未
タ登録セサルモノアルカ

(第六) 帳簿ニ現載セル掃金ハ勿論其受証アルヘク悉皆既ニ附
與シ了レルカ

